

# 山口県生協連 ニュース vol.232

発行：山口県生活協同組合連合会  
〒753-0083 山口市中後河原 210  
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416  
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp  
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2020年3月10日発行

## 第2回山口県生協連役職員研修会を開催報告



### ～「日本の生協の2030年ビジョン」と「第1期中期方針」～

山口県生協連では会員生協の役職員を対象に年2回研修会を開催しています。今回は今年度2回目となり、今後10年の日生協方針をご説明いただきました。

日時：2020年2月20日(木) 13:00～14:30

場所：山口県労働者福祉会館

参加者数：65名(7会員生協の役職員)

講師：日本生協連 政策企画室 炭谷 昇 氏

演題：「日本の生協の2030年ビジョン」と「第1期中期方針」



炭谷氏

初めに生協連の荒瀬専務があいさつをおこない、今回の2030年ビジョンと中期方針は、2018年ごろから調査されてきたことを整理し、まとめられてきた内容で、まだ最終段階ではないですが、生協全体の方針として、各生協の計画、方針づくりに活かしていただきたい、と述べました。



荒瀬専務理事のあいさつ

続いて炭谷氏からご講演いただきました。

①2020年ビジョンのアクションプランごとに、過去10年の到達度を振り返り、

②これからの10年の変化予測を9つのキーワードをもとに説明されました。

③2030年ビジョンに向けた論議のプロセス・一次案から二次案への補強した論点について、

④そして日本の生協の2030年ビジョン(二次案)

**“つながる力で 未来をつくる -CO・OP 2030-”**

について2030ビジョン前文、掲げられた5項目の目標(1.生涯にわたる心ゆたかなくらし 2.安心してくらし続けられる地域社会 3.誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本 4.組合員と生協で働く誰もが生き活きと輝く生協 5.より多くの人々がつながる生協)について説明されました。



⑤最後に第1期中期方針(二次案)2020年～22年度の目標については、環境変化に対応した足場づくり(1.人生100年時代に対応する事業構築 2.地域のネットワークの一翼としての役割発揮 3.未来を切り拓く組織づくり)を基調としていることが説明されました。

#### <参加者の感想>

- 「組合員の生活の多様化、地域社会の変化にしっかり対応していく必要を感じました」
- 「日生協として、2030年に向けてどのように考えているのか大変参考になりました。各単協がそれぞれの立場でどういう役割を發揮していくのかしっかり考えていきたいと思えます。」
- 「若年層、高齢層双方へ対応していかなければならない。若年層のニーズに応えなければ将来はないと感じました。」
- 「30代の組合員状況はとても印象に残っています。これからどう30代の組合員を増やしていくのか難しい課題だと思いました。」



## 第9回監事・監事スタッフ研修会

2019年度 県連主催「第9回監事・監事スタッフ研修会」を開催しました。

この研修会は今年度で9回目となります。この間の研修では監事の役割や監査内容や具体的な監査方法について実施してきました。今回の研修では、年に1回しか研修を実施していないことから、生協運営に関する法改正等の情報提供と年度末監査に向けてあらためて監事監査の基本的な事項と期末監査の内容や方法についてのポイントについて学ぶことにしました。

日時 2020年1月24日 13時～16時  
会場 コミュニティーセンター「はあもにい～♪」  
テーマ 「監事監査の基本と期末監査のポイント」  
講師 日本生協連 総合マネジメント本部 法務部  
宮部 好広氏、土屋 良一氏  
参加者 3生協7名と事務局の合計8名

開会のあいさつの後、宮部氏より、「法務・会計課題に関する報告」をしていただきました。法の改正に関する情報と対応、消費税増税に関する留意事項、決算関係書類等の様式例改正の情報を説明していただきました。

後半は土屋氏から「監事監査の基本と期末監査のポイント」を学びました。



監事の職務の基本では、再確認として、役員と組合との関係、監事の職務、監事の活動を考える上での視点、監査報告の内容と監事活動に求められることをわかりやすく解説していただきました。

また、年度期末監査を控えていることから、期末監査の要点・内容、期末監査実務についてと監査報告書の作成について説明していただきました。

最後に参加者からの質問と交流をおこない、研修会を終了しました。



## 消費者団体と県行政との意見交換会を開催

「県行政と消費者団体の意見交換会」は今年で5年目、春と秋の年2回開催です。

この交換会に先立って、9月～10月に消費者団体と市町行政との消費者行政充実のための意見交換会を実施していますが、今年は山口県生協連も参加団体に加わりました。

(日 時) 2019年11月14日(水) 10:00～11:30

(会 場) 山口県消費生活センター学習室「まなべる」(県庁内厚生棟 2F)

(出席者) 県行政より7名 参加団体より9名

\*参加団体：山口県地域消費者団体連絡協議会・山口県消費者団体連絡協議会  
NPO 法人消費者ネットやまぐち・山口県生活協同組合連合会

(内 容)

初めに、消費者団体から、市町との意見交換会の報告と各団体の活動報告をおこないました。

次に、県行政からの情報提供として

- ①山口県の事業の実施状況
  - ・高齢消費者被害防止対策強化事業について
  - ・学生消費者リーダー育成事業について
  - ・エシカル消費推進事業について
- ②山口県消費者基本計画の進捗状況の報告がありました。



最後に意見交換をおこないました。

- ①消費者安全確保地域協議会の設置推進について  
宇部市の協議会設置・設置した市町での有効的な活用要望等
- ②成年年齢引き下げを見据えた若者たちへの消費者教育の推進について  
学生消費者リーダーのSNSの発信要望、卒業後の活動等について  
教育委員会との連携要望
- ③「エシカル消費」の普及啓発について  
SDGs やエシカルの認知・啓発の方法など
- ④その他  
高齢者のネット被害の対応、対策についての意見が出されました。



## 第 45 回山口県消費者大会が開催されました

12月4日（水）10：00～14：00 山口県総合保健会館にて、第45回山口県消費者大会が開催されました。山口県消費者団体連絡協議会主催。山口県生活協同組合連合会は後援をしています。

大会テーマは『安心して元気に住み続けられる地域社会をつくろう！』

生協連の有吉会長は来賓挨拶をおこないました。記念講演は子育てアドバイザー、幼児教育、家庭教育専門家の熊丸みつ子氏が「ハッピーな社会をつくろうよ♡～今私たちに出来ることは！伝えていこう大切なことを～」という演題で講演されました。基調報告<山口県自治体消費者行政調査活動のまとめ>、各団体の活動報告などがありました。最後に大会アピールを採択して終了しました。



### ◆山口県ユニセフ協会の活動紹介◆◆



山口県ユニセフ協会は、年間を通じて、1人でも多くの方にユニセフの取り組みや世界の子どもたちの現状を知ってもらうさまざまな活動をしています。

主に、イベントなどに出展させていただいていますが、今年は新型コロナウイルス対策でのイベント中止の影響もあり、活動の機会が残念ながら少なくなっています。出展以外の活動もいろいろありますが、今年2月～3月中旬に開催したカレンダー募金活動をご紹介します。

カレンダー募金とは、東京銀座の老舗文具店「伊東屋」様のご厚意で、毎年カレンダーを日本ユニセフ協会へ寄贈していただいています。皆さまの募金協力に、ささやかなお礼の品としてお渡しして下さいとのことです。山口県ユニセフ協会では設立以来、毎年カレンダー募金を開催しています。



場所はコープやまぐちの店舗にお願いしていますが、毎年好評で、たくさんのご協力をいただいています。今年は終了しますが、来年も開催予定ですので、是非のぞいてみてください。



世界の子どもたちの笑顔のために、ご協力よろしくお願いたします。

ご協力いただいた募金は後日、日本ユニセフ協会へ送金させていただきます。